

MyWeb Medical 4

医療法人尚和会
龍田病院

グループウェアでとっても便利に ～ムダを無くして効率UP!～



熊本の文京地区黒髪で白川のほとりに位置する精神科病院（2004年春改築）。

豊かな緑、爽やかな風、鳥のさえずりが聞こえる静かなたたずまいの中、木を基調とした風景とたくさんの外光が混ざり合った院内空間が、心を癒し安らぎを与えてくれる。

関連団体の援護寮や福祉工場と連携してリハビリテーションの充実を図る一方、デイケア、訪問看護に取り組み、外来治療と地域ケアに努めている。

患者の基本的な人権を尊重し、奉仕の精神をもって患者の社会復帰に力を注いでいる当病院に対しての地域住民の信頼は非常に大きい。

● スタッフステーション ●

● 病室(4人室) ●



● 待合室 ●

利用製品：MyWeb Medical 4
MyWeb Medical 病床管理オプション
利用者規模：約150人

当病院では、グループウェア導入にあたり、各部署から召集した導入委員会（ホームページ委員会）を中心に準備を行われた。

運用が開始した今でも、院内各所からのQA対応等でご活躍され、病院に無くてはならない存在である。

今回は、その委員会メンバーにお話を伺った。



精神科・神経科・心療内科

医療法人尚和会

龍田病院

病院概要

- ◆ 院長 續 純一
- ◆ 所在地 熊本県熊本市黒髪6-12-51
- ◆ 診療科目 精神科・神経科・心療内科
- ◆ 病床数 250床
- ◆ 施設・サービス 精神科デイケア、精神科作業療法、訪問看護
・精神保健福祉法指定病院、精神科救急医療施設
労災保険指定病院

導入前の状況

病院には、診療に関わる情報以外にも伝えるべき情報が沢山ある。ごみの分別方法から冠婚葬祭、人事異動情報に至るまでさまざま。今までは全部紙で閲覧していた。スケジュールを各病棟・部署のホワイトボードに書き込んだり、紙やノートで伝えていた。それらを効率化すべく、2004年春、グループウェア『MyWeb Medical 4』を導入された。

導入教育

同じ時期にして病院のホームページも立ち上げないといけないということで、ホームページ委員会を結成。ここが中心になってグループウェアの講習会を開催し、運用ルール(運用規定)を作り、尽力された。

「ゼロからのスタートでした。パソコンは家にあっても触ってないもしくは家にすらない、という人が結構いたので。触ったことのない人にどうやって触ってもらおうかと・・・」

導入効果

すぐ効果に表れたのは、掲示板での情報の広がり。掲示板に記事を書き込む際には、トップページへ新着記事として表示させる書き込み方法ができる。当病院ではほとんどの記事を新着記事へ表示させており、トップページを見ればすぐにチェックできると評判だ。

「トップページはお手軽に表示できますし、情報が集約するから便利ですね。記事の題名を見て詳しく知りたければ、そこから掲示板に入ったり、スケジュールを見たりしています。」

例①<<掲示板>>

以前は閲覧がなくなったり、どこへ回ってるか分からなくて困っていたが、今はそういうことはなくなったとのこと。

例②<<ライブラリ>>

書式関係や報告書類の雛型(フォーマット)など、昔はいちいち保管している部署まで行ってコピーや印刷をしていたものを現在はライブラリに登録しており、必要な分だけダウンロードやプリントアウトをして利用できるようにしている。また、ドクターがお知らせする感染対策なども登録するようにしているとのこと。

工夫や苦労をしたこと 今後の展望など

グループウェアを浸透させるために、委員会が考えたのはこんな方法。

情報は極力グループウェアにだけ登録するようにし、知りたいことはグループウェアを見て下さいと指導。情報はここにしかないよ！見なかったものが悪いんだよ！自己責任ですよ！！という一見乱暴にも見える手法により、2004年11月には3354回のアクセス回数を記録している。これは、職員が1日1回は見ているということをも物語っている。

情報の発信側に対しては、主任クラスは院内感染関係の書類を週一で掲示板に投稿しないとイケないといったルールを決めている。

「使わなかったら宝の持ち腐れになってしまいますから。見よう触ろうとする意識付けをいかにするかがポイントでした。将来的には、まだ運用していないメールやアンケートの機能を使っていきたいですね。パソコンも増やしたいなと思ってます。」

「リーズナブルなお値段でした。他社と比べても安かった。クライアントライセンスフリーなので登録するユーザー数を気にする必要もありません。また、入院患者を管理するオプション製品も魅力的で、合わせて導入しました。」

ですから、先にまずパソコンに触ってもらうことから始めました。書類の雛型を表計算ソフトで作っていたので、その入力作業ですね。グループウェアは4月に講習会を開き、実際に操作しながら基本的な操作方法を習得してもらいました。全員参加必須のお達しを出してもらい、3~4日間やりましたね。」

運用後の問い合わせには、その都度、委員会の誰かが行ってフォローしているとのこと。

「例えば、Fax送信票をライブラリからダウンロードできるようにしてありますが、今までみたいに原紙を探す手間がなくなりますし、原紙切れもありません。いつもは使わない書類をライブラリに保存しておくってのもいいですね。」

例③<<設備予約>>

車の予約が重宝されている。当病院では、訪問介護や送迎等で頻繁に車を使う為、車の予約はかかせない。

「以前は1か月分ないし2か月分、日の項目を記載した紙に手書きで記入する予約表があったんです。導入してからはしばらく併用してましたが、今はグループウェアばかりです。また、頻繁に使わない多目的・会議室・研修室なんかは電話一本で終わらせてます。頻度が多いところはグループウェアで管理し、頻度が少ないところは内線とかで済ませ、メリハリのある運用をしてますね。」

例④<<病床管理>>

「担当医、入院日、退院予定日も合わせて確認できますし、病棟へ行かなくとも他部署からでもパソコンですぐ見れるというのがいいですね。」

※この画面はMyWebMedicalのイメージ画面であり、龍田病院様のMyWebMedical画面とは一切関係ございません

龍田病院様 利用機能

- 掲示板
- 電子会議室
- スケジュール
- ライブラリ
- 職員用設備予約
- 職員名簿
- 患者情報検索
- 病床管理
- 利用状況表

掲載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本件におけるお問合せ・ご案内は

お問い合わせは :

株式会社 ソフテック パッケージソリューション部

〒783-0060 高知県南国市蛸が丘1-4 高知富士通テクノポート 2F
TEL : 088-862-4011 FAX : 088-880-8866

ホームページ

<http://www.softec-inc.net/mywebmedical/>

E-mail

mywebme@softec-inc.co.jp